

100世界遺産の旅（171）

西海国立公園

西海国立公園は、長崎県北部の平戸地域、中部の九十九島と五島列島の3地域からなる。今回は、佐賀県の伊万里を出発して、平戸と九十九島を訪れた。

平戸大橋を渡ると右手に平戸城が見えてきた。50年前の新婚旅行時、天守閣だけだったが、現在は、2つの櫓（やぐら）が、新たに造営されていた。



平戸城、長崎県、2025年10月

平戸は歴史の街である。1609年オランダが、そして1613年イギリスが、商館を設けた。1623年インドネシアのアンボイナ事件でオランダが勝利した結果、日本におけるイギリスの経営は不振となり商館を閉鎖した。

キリスト禁教令でポルトガルが来航禁止になった後、1641年オランダは、平戸の商館を長崎の出島へ移転し、濡れ手で栗のごとく、日本と欧州の交易を独占した。

ウィリアム・アダムス（日本名：三浦按針）は、初めて日本に渡來したイギリス人で、武士（旗本）の身分を得て、徳川家康の外交顧問として重用された。

イギリスへの望郷の念を禁じえず、平戸より渡欧を試みたが、1620年病死し、平戸に埋葬されている。



旧オランダ商館、平戸、2025年10月

新婚旅行時、平戸は長閑な城下町だったが、平戸大橋の無料化に伴い、大いに都市化が進んだようだ。

平戸は世界遺産に登録されている。それは「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」である。

現在、平戸にも多くの教会があるが、明治以降になって建設されたもので、それまでは、禁教政策の「踏み絵」にも耐えた隠れキリシタンの里であった。



寺と教会、平戸、長崎県、2025年10月

新婚旅行時、佐世保に泊まり、弓張岳より九十九島を眺望した後、佐世保の鹿子前から平戸港まで、九十九島を縫うようにして、連絡船の旅を楽しんだ。残念ながら、その連絡船航路は廃止されていた。

現在、九十九島を臨む新たな展望台として、九十九島観光公園があり、大パノラマの絶景を楽しめる。



九十九島観光公園、佐世保市、2025年10月

佐世保の新富豪と云えば、甲高い声で商品説明する「ジャパネットたかた」の創業者・高田明氏（1948年生）で、団塊世代の地方起業家の一人である。

佐世保市日宇町に「ジャパネットたかた」の本社ビルがあるので寄ってみた。大きなビルではないが、多くの番組撮影は、その社屋で行われている。



西海橋と針尾無線塔、大村湾、長崎県、2025年10月

佐世保と長崎の間に西海橋がある。この橋は大村湾と外海を結ぶ170mの針尾瀬戸に掛かっている。

その西側に3本の針尾無線塔が立ち、太平洋戦争開戦の暗号「ニイタカヤマノボレ一二〇八」を発信した無線基地の一か所として保存されている。